

特集

知ってほしい、認知症のこと

～地域で見守り合える社会を目指して～



問 長寿介護課 地域支援係(☎95-0191)

「もしも、親や身近な人、あるいは自分が認知症になってしまったら、どうしよう。」

そんな不安を感じたことはありませんか。令和7年には、65歳以上の人の5人に1人が認知症になると国は推計しています。認知症は決して他人事ではありません。

今回は地域で活動するボランティア「オレンジメイト」の声を通して、認知症を患う人やそのご家族を地域で支えるために大切なことを考えます。

インタビュー：地域で見守り合える社会を目指して

認知症に関するボランティア「オレンジメイト」であり、民生委員としても活動している永田やよいさんにお話を伺いました。

地域の人にお話を聞いていると、自分や家族の認知症のことで悩んでいても、悩みを相談しにくいと思っている人が多いと感じます。

普段から近所で散歩している高齢者を見かけたら声をかけていますが、近くに住んでいるからこそ少しの変化に気づき、認知症の悩みを聞いたり、相談につながれたりすることもあります。

認知症を患う人やそのご家族を地域で支えるには、周りの人同士が気軽に話せるようなつながりや声かけ、見守りあえる関係づくりが大切です。たくさんの方が認知症について知り、いっしょに見守ってもらえる社会になるとよいと思います。



■ 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症を患う人や家族を温かい目で見守る応援者です。認知症サポーター養成講座受講者には「オレンジリング」を配布します。認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちをつくらせていくためには、みなさんの力が必要です。ぜひご参加ください。

時 9月28日(水) 午後2時～3時30分

所 中央公民館2階 講堂

内 ①認知症サポーター養成講座

②認知症に関する寸劇

定 70人

申 9月5日(月)から電話または直接長寿介護課地域支援係(☎95-0191)へ。



■ もっと力になりたい！というあなたに

認知症サポーター養成講座を受講した人のうち、実際に認知症に関するボランティア活動をしたい人を対象に「オレンジメイト(認知症ボランティア)育成研修」を行います。認知症サポーター養成講座との同時申込みもできます。

時 11月16日(水) 午後1時30分～4時

所 福祉の里ハツ田3階 さくら・うめ

内 ①認知症の人への望ましい対応

②傾聴について

定 40人

申 9月5日(月)から電話または直接長寿介護課地域支援係(☎95-0191)へ。



認知症の相談窓口

「家族が認知症かもしれない」などの心配は、かかりつけ医、地域包括支援センターへご相談ください。自分や家族の認知症について、一人で悩む必要はありません。一緒にこれからの生活について考えていきましょう。

○東部地域包括支援センター (☎82-8855 ハツ田町泉43番地)

担当エリア小学校区：知立小学校、来迎寺小学校、ハツ田小学校、知立東小学校

○西部地域包括支援センター (☎81-8880 新林町北林44番地)

担当エリア小学校区：知立西小学校、猿渡小学校、知立南小学校

